

2024年日本メルジェス協会定期総会議事録

日時：2024年12月19日 20時00分～21時05分 Web会議にて実施

議長：廣中龍蔵会長

出席：正会員3名（全10名中）、委任状提出6名

出席者：廣中龍蔵（米山蓉子・上甲哲也・平川猶基・小澤秀孝代理）、加藤高裕、大澤光正、山田寛（理事（活動報告）、後藤崇・戴偉守代理）、小川紗津貴（事務局（会計報告））、山田真（理事）、河合龍太郎（オブザーバー）

1) 活動報告

レース担当理事山田寛より下記内容の報告がなされた。

- 2月11日 HMYC 如月レガッタ（参加 2艇）
- 3月23日、24日 スプリングレガッタ（参加 5艇）
- 4月20日、21日 ニッポンカップ葉山シリーズスプリング（参加 6艇）
- 6月30日 HMYC 水無月レガッタ（参加 5艇）
- 8月25日 HMYC クレセントカップ2024（参加 4艇）
- 9月28日、29日 フォールレガッタ（参加 5艇）
- 10月19日、20日 ニッポンカップ葉山オータムシリーズ（参加 7艇）
- 10月27日 HMYC 神無月レガッタ（参加 4艇）
- 11月10日 HMYC 霜月レガッタ運営
- 11月15日～17日 JMW2024 Melges 20 全日本（参加 6艇）
- 12月8日 HMYC クリスマスレガッタ（参加 1艇）

2) 会計報告

事務局小川紗津貴より2023年度の会計について下記内容の報告がなされた。

収入の部		支出の部	
前年度繰越	¥1,104,747	JSAF加盟団体負担金	¥30,000
会費	¥415,000	サイト管理費	¥6,900
JSAF登録選付	¥3,900	スプリングレガッタ運営費	¥205,908
スプリングレガッタエントリー費	¥210,000	サマーレガッタ運営費	¥203,670
サマーレガッタエントリー費	¥210,000	JMW運営費	¥925,093
JMWエントリー費	¥675,000	振込手数料	¥3,665
受取利息	¥4	インターナショナルメンバーシップリスト登録	¥144,798
		その他	¥20,000
合計	¥2,618,651	合計	¥1,540,034

次期繰越金			¥1,078,617
-------	--	--	------------

艇登録・チャーター	13艇	普通預金（PayPay銀行）	¥978,545
JSAF登録選付	12名	普通預金（みずほ銀行）	¥99,464
		現金	¥608
		未払金	
		残高合計	¥1,078,617

事務局 小川 紗津貴
 会計監査 加藤 高裕

3) 2025年活動予定の件

レース担当理事山田寛より2025年の活動案について下記内容の説明がなされた。

- 2月9日 HMYC 如月レガッタ
- 3月15日、16日 Melges 20 スプリングレガッタ
- 4月12日、13日 ニッポンカップ葉山シリーズスプリング
- 5月10日 HMYC サンセットレガッタ
- 6月14日、15日 Melges 20 練習会
- 7月20日 HMYC 文月レガッタ
- 8月16日、17日 Melges 20 練習会
- 9月14日 HMYC 第13回クレアカップ
- 10月11日、12日 ニッポンカップ葉山シリーズオータム
- 11月1日～3日 Melges 20 全日本
- 11月9日 HMYC 運営
- 12月7日 HMYC クリスマスレガッタ

Melges 20 全日本の日程について、山田真理事より学生やインカレ関係者の参加のしやすさや他大会との兼ね合いなど含め各チームの参加のしやすさを考慮して将来的に1月や2月に行うことも検討してみてもどうかとの提案があった。

全日本の日程については、大澤光正オーナーからインカレの日程と重なっていない方が有難いとの意見があり、河合龍太郎オーナーからは2月開催の方が参加はしやすいとの意見が出された。

小川紗津貴事務局より2025年は全日本を行わず2026年の2月に全日本を実施してはどうかとの意見が出され出席者一同賛同した。

これを受けてMelges 20 全日本の日程については2026年2月21日から23日の日程で改めて理事会にて検討を行うこととなった。

4) その他

① 練習会の実施について

廣中会長よりフリート全体の底上げを図り、多くのチームが競い合えるようにするために2025年は練習会を設定した旨の説明がなされた。

練習会の詳細については未定であるが、実施にあたっては参加料を集め体制を整えていく。

② 年間シリーズの設置について

加藤高裕オーナーより年間シリーズの設定についての提案がなされた。

Melges World League に変わる年間シリーズの設置により、年間を通してレースに参加するモチベーションになるのではという考えより年間シリーズの設定の方向で調整を進める。

③ クラスコミュニティの運営について

廣中会長よりクラス協会のコミュニティの運営について、現状オーナー中心に行わ

れているが、クルーメンバーも積極的にクラス協会運営に関わってもらうことで参加意識を高めクラス協会の盛り上げを図りたい旨の説明が行われた。
具体例として、チーム持ち回りで大会などにおける懇親会を担当制にして実施するなどをしていくなどの案が出された。

コミュニティの活性化という点においては、オーナーからクルーへの情報伝達だけでなくクルーメンバーも含めた LINE グループを作成し、情報を皆が共有できる体制を構築してはどうかとの意見がありクラス協会として整備していくこととなった。

以上